

事業番号	15 05 03	事業改善シート(27年度実施事業分)		<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	グローバル人材育成事業費			担当課	部局	教育委員会事務局	
総合5か年計画	プロジェクト	8-4-1 教育再生プロジェクト			課・室	教学指導課	
	施策の総合的展開	7-1 子ども一人ひとりの個性や能力を伸ばす学校教育の充実			E-mail	kyogaku@pref.nagano.lg.jp	
		2 信州に根ざし世界に通じる人材の育成			実施期間	H26 ~	

### 1 事業の概要

目指す姿	<ul style="list-style-type: none"> <li>グローバル時代に対応した、信州に根ざし世界に通じる人材の育成</li> <li>児童・生徒に、世界で活躍するために求められる発信力やコミュニケーション能力の育成</li> </ul>		
現状(予算編成時)	英語コミュニケーション能力: 中学3年卒業時で3級レベル 28.2% 高校3年卒業時で準2級レベル 34.4% (H25)		
県が関与する理由	県関与の必要性あり	【左記の説明、根拠法令等】	
	県民との協働による実施: 検討中	児童生徒が世界で活躍するために求められる発信力やコミュニケーション能力の育成は、小・中・高を通じて取り組むべき施策であり、県が当該事業を実施することは必要不可欠である。	

成果目標・事業内容	① 成果目標(H27)					
	英語コミュニケーション能力: 中学3年卒業時で3級レベル 33.0% 高校3年卒業時で準2級レベル 36.0%(H27) Can-Doリストで学習到達目標を公開する学校数:30校					
	② 事業内容 (単位:千円)					
	項目	実施方法	H27事業実績	H27 (当初)	H27 (決算)	H28 (当初)
	スーパーグローバルハイスクール(SGH)設置事業	直接	SGH指定校2校における人文科学・社会科学分野等での先進的教育課程の開発・実践、SGH運営委員会の開催	32,009	19,909	30,007
発信力育成プログラム	直接	・発信力育成講座(善光寺アカデミア、グローバルマインド育成講座) ・高校生の留学促進事業(長期、短期) ・グローバル語り部派遣事業	12,390	8,983	10,845	
外国語教育充実支援事業	直接	・英語授業改善推進事業(中高連携推進モデル研究開発、小学校英語モデル研究開発) ・英語教育に係る教員の研修事業(CET養成プログラム、英語教員研修推進) ・外国語指導助手(ALT)配置事業	195,596	191,645	197,848	
合計			239,995	220,537	238,700	

事業コスト	区分(単位:千円)					成果目標の達成状況						
	予算額	前年度繰越					項目	H26末(実績)	H27			H28目標
		当初予算	193,359	230,502	239,995	238,700			目標	成果	達成状況	
		補正予算	-1,220	-16,652	-12,096							
		合計(A)	192,139	213,850	227,899	238,700						
	Aの財源	一般財源	187,091	187,821	193,230	195,705	中学3年卒業時に英検3級レベルを有する割合	33.2%	33.0%	33.7%	達成	36.0%
		県債					高校卒業時に英検準2級レベルを有する割合	35.0%	36.0%	34.40%	未達成	38.0%
		国庫支出金	4,427	25,409	46,134	42,335	Can-Doリストで学習到達目標を公開する学校数(高校)	37校	30校	70校	達成	30校
		その他(諸収入)	621	620	-11,465	660						
	決算額(B)	188,263	207,320	220,537								
概算人件費	職員数(人)	1.00	1.00	1.00	1.00							
	概算人件費(C)	8,258	8,258	8,276	8,276							
概算事業費(B(A)+C)	196,521	215,578	228,813	246,976								

目標に対する成果の状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>中学卒業時の英語力及びCan-Doリストによる学習到達目標の設定について、それぞれ目標を達成することができた。</li> <li>高校卒業時の英語力は目標値を下回った。今後も授業内での英語使用率を向上させるなどの工夫をし、さらなる授業改善を図り、生徒の英語力の伸長を目指したい。</li> </ul>
-------------	---

### 2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施 ・グローバル時代に対応し、信州に根ざした世界に通じる人材を育成するため、児童生徒が世界で活躍するために求められる発信力やコミュニケーション能力を向上させる取組を引き続き行っていく。特に、将来、政治、経済、学術等の分野で活躍できるグローバルリーダーを育成するための教育課程研究を行うスーパーグローバルハイスクールの支援、世界に視野を広げる高校生を育成するための留学メニューの充実、さらには、小学校における英語教育の教科化、早期化を見据えたモデル研究開発や小学校中核教員及び中・高校における英語科教員の研修を実施し、スキルの向上を図っていく。
--------------------	--